

編集後記

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の世界における感染者は1億1,000万人を超えました。わが国でもようやく一部でワクチン接種が始まりましたが、依然として収束の目途は立っていないのが現状です（3月1日現在）。

COVID-19の症状として、肺炎や味覚・嗅覚障害がまず挙げられますが、筋骨格系の「痛み」も主要な症状であることは意外と知られていません。海外の報告では、COVID-19患者の47%が初期の段階で「痛み」を主訴としており、そのうち69%が筋痛・関節痛、44%が背部痛、33%が腰痛だったとしています¹⁾。COVID-19に伴う痛みの原因には、過剰な炎症反応に伴うクレアチンキナーゼ（CK）や乳酸脱水素酵素（LDH）の上昇、さらには末梢血管における塞栓などが関与しているとされます²⁾。

一方、COVID-19は、既存の運動器疾患の増悪をも引き起こしています。COVID-19パンデミックにより、変形性膝関節症・股関節症の患者のVASとWOMACスコアが増大したことや³⁾、成人における腰痛頻度が38%から44%に増加したことが報告されています⁴⁾。これらの背景として、ロックダウンやテレワークによる活動性の低下、すなわち運動不足が挙げられています。そしていずれの論文も異口同音に自宅あるいは医療機関でのエクササイズの必要性を強調しています。

当然、わが国においても同様の現象が起きていることは想像に難くありません。整形外科は、COVID-19自体の治療においては主役ではありませんが、COVID-19により直接的あるいは間接的に引き起こされている運動器障害とそれに起因する痛みの治療と予

防に主体的に関与していく必要があります。そして、その主軸となるのが「運動療法」だといえます。

本号の特集は、矢吹省司教授のご企画による「整形外科疾患の運動療法—最近の進歩」です。運動による鎮痛メカニズムや筋・骨に及ぼす影響、さらには腰痛・膝痛・ロコモ・サルコペニアなど種々の病態に対する運動療法の理論と実際について、最新の情報が満載されています。整形外科疾患の治療のみならず、コロナ禍により低下した運動機能や体力回復のための指導・啓発にも役立つものと思います。

ウィズコロナの時代はまだまだ続くものと思われませんが、その先のアフターコロナの時代においても、整形外科は、国民そして日本を再び元気にする医療分野として、ますます重要な役割を担っていくものと思います。

〔文献〕

- 1) Murat S et al : Clinical presentations of pain in patients with COVID-19 infection. Irish Journal of Medical Science, Nov 14, 2020
- 2) Wu YC et al : The outbreak of COVID-19; an overview. J Chin Med Assoc **83** : 217—220, 2020
- 3) Endstrasser F et al : The negative impact of the COVID-19 lockdown on pain and physical function in patients with end-stage hip or knee osteoarthritis. Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc **28** : 2435—2443, 2020
- 4) Sagat P et al : Impact of COVID-19 quarantine on low back pain intensity, prevalence, and associated risk factors among adult citizens residing in Riyadh (Saudi Arabia); a cross-sectional study. Int J Environ Res Public Health **17** : 7302, 2020

（山下敏彦）

「整形・災害外科」第64巻 第4号（4月号） 2021年4月1日発行（毎月1回1日発行） 定価 2,860 円（本体 2,600 円＋税 10%） 年間購読料金 定価 44,660 円（本体 40,600 円＋税 10%） 〔年間13冊（臨時増刊号、増大号を含む）の誌代〕 〔年間予約購読者に限り送料無料〕	発行所 金原出版株式会社 発行者 福村直樹 〒113-0034 東京都文京区湯島2-31-14 TEL 03 (3811) 7165〔編集室直通〕 TEL 03 (3811) 7184〔営業部直通〕 FAX 03 (3813) 0288 http://www.kanehara-shuppan.co.jp 振替口座 00130-1-191269 印刷所 三報社印刷株式会社 広告申込先 日本医学広告社 TEL 03 (5226) 2791
--	--

・本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権（送信可能化権を含む）、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著者の権利は、金原出版株式会社が保有します。

・**JCOPY** <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。